

わんわんふふ



Sing with your neighbors

THE BIG ISSUE Support Live vol.3

2012年10月6日(土) 東京 外苑前 **梅窓院 祖師堂** そしどう 開場 14:00 開演 14:30
2,000円 (税込・入退場自由)

「THE BIG ISSUE」を知っていますか? ホームレスの人が販売者となり、売り上げの6割ほどがその人の収入になる仕組の雑誌「THE BIG ISSUE」。ホームレスは怠け者、と思ってる人も思っていない人も、ビッグイシューを知らない人も知っても買う一歩が踏み出せない人も、魅力的なこの雑誌をとにかく一度読んでみて欲しい! そんな思いから出発したイベントです。会場には若い音楽ファンはもちろん、ビッグイシューの販売者さんもいます、元野宿のおじいちゃんもいます、そういう人びとを支える活動を担ってきた人たちもいます。ぜひ一緒に音楽を楽しみ、一緒に考えましょう。あなたと一緒に明日を謳えたらこんなに嬉しいことはありません。



友部正人 / 片想い / 寺尾紗穂 / 木蓮 / ソケリッサ / Broom Duster KAN / なぎら健壱

座談会 / 寺尾紗穂、稲葉剛、吉水岳彦、佐野未来、ビッグイシュー販売者、他 当日は、炊き出しも予定しています。

お問合せ・チケット予約(メールのみ): singwithyourneighbors@gmail.com ※梅窓院(会場)へのお問合せはご遠慮ください。

〒107-0062東京都港区南青山2丁目26-38 梅窓院 祖師堂 東京メトロ銀座線 外苑前駅下車 1a出口 徒歩1分 HP: <http://baisouin.or.jp/shisetsu/sansaku.htm> 駐車場はございません。お車での来場はお控えください。

主催:「THE BIG ISSUE」Support Live vol.2実行委員会 協力:BIG ISSUE基金/NPOもやい(自立生活サポートセンター)/ひとさじの会(浄土宗社会慈善委員会)/MIDI INC.

りんりん-ふふ-むそ



Sing with your neighbors

THE BIG ISSUE Support Live vol.3

2012年10月6日(土) 東京 外苑前 梅窓院 そしどう 祖師堂

開場 14:00 開演 14:30 2,000円 (税込・入退場自由)

友部正人/片想い/寺尾紗穂/木蓮/ソケリッサ/Broom Duster KAN/なぎら健壹

座談会/寺尾紗穂、稲葉剛、吉水岳彦、佐野未来、ビッグイシュー販売者、他 炊き出し/簡単な食事やコーヒーも用意してます
お問合せ・チケット予約(メールのみ): singwithyourneighbors@gmail.com ※梅窓院(会場)へのお問合せはご遠慮ください。

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38 梅窓院 祖師堂 東京メトロ銀座線 外苑前駅下車 1a出口 徒歩1分

HP: <http://baisouin.or.jp/shisetsu/sansaku.htm> ※駐車場はございません。お車での来場はお控ください。

主催:「THE BIG ISSUE」Support Live vol.3実行委員会 協力: BIG ISSUE基金/NPOもやい(自立生活サポートセンター)/ひとさじの会(浄土宗社会慈善委員会)/MIDI INC.

「THE BIG ISSUE」を知っていますか？

ホームレスの人が販売者となり、売り上げの6割ほどがその人の収入になる仕組の雑誌「THE BIG ISSUE」。ホームレスは怠け者、と思ってる人も思っていない人も、ビッグイシューを知らない人も知っても買う一歩が踏み出せない人も、魅力的なこの雑誌をとにかく一度読んでみて欲しい！そんな思いから出発したイベントです。

会場には若い音楽ファンはもちろん、ビッグイシューの販売者さんもいます、元野宿のおじいちゃんもいます、そういう人びとを支える活動を担ってきた人たちもいます。ぜひ一緒に音楽を楽しみ、一緒に考えましょう。あなたと一緒に明日を謳えたらこんなに嬉しいことはありません。



友部正人

1950年東京生まれ。

高校卒業後名古屋の路上で歌い始め、72年「大阪へやって来た」でレコードデビュー。

以降コンスタントにアルバムをリリースし、ライブも精力的に行っている。

最新作「クレーン」(2010)まで22枚のオリジナルアルバムを発表。

詩集、エッセイ集など著書も数多く刊行し、最新詩集は「退屈は素敵」(2010)。

96年以降ニューヨークと日本を行ったり来たりの暮らしを続けている。



東京ナンパーワンパーティバンドの称号を得るも(非公式)、実はパーティソングは少ない。
8人編成でありながらそのスカスカのサウンドには実は理由があって、それは聴いてはる人の想いが入る余地を残しているからなのである。
そんな見る者の心をあたたかく包み込んで離さない、悲喜こもごもを包括したステージには本当に定評がある。
それを実証する名曲「踊る理由」は7インチシングルとして、この3月にまさかのカクパリズムからリリース。瞬殺でソールドアウト。

<http://www.youtube.com/watch?v=y5LFv5-xWtU>



寺尾紗穂

1981年東京都生まれ。大学時代に音楽活動を始め、2005年バンドThousands Birdies' LegsでCDデビュー。06年アルバム『愛し、日々』でソロデビュー。07年『御身onmi』でメディアよりメジャーデビュー、大貫妙子、坂本龍一、星野源らから賛辞を得る。大林宣彦監督作品「転校生 さよならあなた」の主題歌を担当。08年『風はびゅうびゅう』、09年『愛の秘密』、10年『残照』、シングル「放送禁止歌」を発表。CM音楽やナレーション、エッセイ、ノンフィクション、書評などの分野でも活動中。「真夜中」(リトルモア)にて「南洋と私」を連載。09年より来場者にビッグイシューを配布するサポートイベント「Sing with your neighbors」を主催。著書に「評伝 川島芳子」(文春新書)『愛し、日々』(天然文庫)がある。2012年6月6日七尾旅人、キセル、イルリメ、ダースレイダーらアレンジに迎えた6thアルバム「青い夜のさよなら」を発表。

片想い



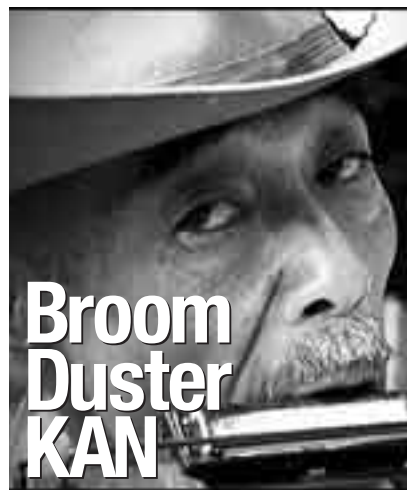
チャンク「韓国太鼓」奏者・崔在哲(チェジェ Chol)と、ベース・野中隼人、キーボード&篠笛・田中 淳の出会いから2003年に結成され、ドラム・小林武文が加わったアジア・ソウルバンド。チャンクのリズムをベースに、甘く切なくソウルフルな崔の歌声、田中の奏でるお囃子的な和の調子、ファンキーでドライブ感のある野中のベース、Jazz&囃子のグルーブ感に満ちた小林のドラム、西洋、東洋、日韓、様々な音楽要素が融合し、新たな「アジア・ソウル」の誕生を予感させる独自のサウンドは、リズムとハーモニーの両面でさらなる進化を続けている。



「ソケリッサ！」この言葉は造語で「それ行け！という言葉の勢い、前に進む」という意味を持つ名前です。メンバーは出演をするアオキ裕キ、そして路上生活者および元路上生活経験者で構成されており、ダンスを主とした肉体的表現を行います。路上生活者の肉体的表現からは何が生まれるのか、この路上生活者が人前に立ちライブをすれば何が起こるのか？という視点より2005年から参加者を集め舞台や路上などで芸術活動を行っています。

<近年の活動>
2011年十和田市現代美術館にてパフォーマンス
2011年横浜トリエンナーレ提携「大野一雄フェスティバル2011」出演
2012年1月寿町内幼稚園パフォーマンス
2012年10月大野一雄フェスティバル
2012横浜界隈出演予定

木蓮



Broom Duster KAN

伝説の横浜ブルースバンド「ぎんざん」のボーカールとして神林治満の名で活動していたが、その後Broom Duster KANとしてソロ活動を始める。現在は土日祝日と町の頭公園で弾き語りをごこしつづ、Broom Duster KAN&Strangersというバンドでライブハウスでの演奏も精力的にこなしている。これまでに5枚のアルバムを発表。最新作は久保田麻琴プロデュースの「Going To Anton's」。エネルギーが、しかしどこかつかつかしい歌声は、一度聴くと忘れられない響きを持っている。全身が演奏する喜びにあふれているような力強いステージは必見。

ソケリッサ



なぎら健彦

1952年、東京銀座(旧・木挽町)に生まれ。その後、葛飾に転居。高石ともや、西岡たかし、高田渡らに影響を受け、フォークソングに傾倒し、1970年、岐阜の中津川で行われた全日本フォークジャンボリーに飛び入りで出演したことがきっかけとなりデビュー。1972年ファーストアルバム「万年床」をリリース。以後音楽だけでなく、映画、ドラマ、テレビ、ラジオの出演、新聞、雑誌の執筆など幅広く活躍。中でも下町に関連したドラマ出演、雑誌のインタビューは数多い。趣味も多種にわたり、カメラ、散歩、自転車、落語、飲酒、など。2009年、浅草芸能大賞奨励賞を受賞。毎月最終土曜日にライブワークとして続けている吉祥寺MANDA-LA2でのライブは、すでに30年以上になる。ステージでは人間味溢れる自らの作詞、作曲によるオリジナル曲に加え、心に残る、忘れてはいけない唄を歌い続けるフォークシンガーである。